

はまなす季刊

(医療法人はまなすホームページ) <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人
はまなす **はまなす医院** ☎061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL(0133)64-6622 FAX(0133)64-6555

医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック** ☎002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL(011)776-3030 FAX(011)776-3001



篠路・龍雲寺前のイチョウ

はまなす医院と篠路はまなすクリニックの間を車で行き来していると、季節によつてさまざまな景色が広がります。春は創成川と伏籠川の合流部が早朝からフナ釣りで賑わっています。夏になると茨戸川では学生がボートの練習にいそしみ、その岸辺にあるパークゴルフ場はあるぶれんばかりの人出です。

秋になると篠路通では街路樹の紅葉が彩りを添えます。その北端にひときわ大きなイチョウが立っています。明治初期に入植した鋤柄松太郎という人物が開拓者の心のよりどころとして寺院の前に植栽したと伝えられています。札幌市北区では北海道自然環境等保全条例によつて指定されている唯一の保存木であり、1世紀以上にわたつて地域を見守つています。

石狩市ではまなす医院は20年の歳月をかけて現在の形になりました。篠路でも長きにわたつて皆様のお役に立てるよう、信頼を得る努力を重ねてまいります。イチョウのまどろく、と言われるよう少しづつ成長していく

はまなす医院と篠路はまなすクリニックの間を車で行き来していると、季節によつてさまざまな景色が広がります。春は創成川と伏籠川の合流部が早朝からフナ釣りで賑わっています。夏になると茨戸川では学生がボートの練習にいそしみ、その岸辺にあるパークゴルフ場はあるぶれんばかりの人出です。

秋になると篠路通では街路樹の紅葉が彩りを添えます。その北端にひときわ大きなイチョウが立っています。明治初期に入植した鋤柄松太郎という人物が開拓者の心のよりどころとして寺院の前に植栽したと伝えられています。札幌市北区では北海道自然環境等保全条例によつて指定されている唯一の保存木であり、1世紀以上にわたつて地域を見守つています。

これから厳しい冬になりますが、篠路はまなすクリニックの増築は順調に進んでいます。雪解け後には、血液透析に加えて消化器疾患を中心とした外来・入院診療を行なう新たな施設に生まれ変わります。現在、スタッフとともにオープンに向かって、設備と運営が万全になるよう準備を整えています。開業してから間もなく9年となります。一般の患者様を対象とした医療はゼロからのスタートです。

医療法人はまなす 理事長 工藤岳秋

イチョウのよう



施設紹介・はまなす医院

はまなす医院・篠路はまなすクリニックの各部門を順次紹介していきます。

○手術室



当院では透析シャント作製以外に、胃・大腸切除、胆囊摘出、虫垂切除、そけいヘルニア修復などの消化器外科手術を行っています。疾患によっては腹腔鏡を用いて5mm～1cm程度の小さな穴を数ヵ所空けるだけで、開腹と同等の手術を行えます。胆囊炎や虫垂炎などの緊急手術に対しても腹腔鏡で対応できるよう常に準備をし、侵襲の軽減、入院期間の短縮を目指しています。

縮を目指しています。

手術チームは職種毎に役割を分担し、安全に手術が遂行できるような協力体制を整えています。看護師は外来部門と兼務とし、術前の患者様のメンタル面のサポートも担当しています。機器の点検・整備は臨床工学技士が行います。医師とともに勉強会を行い、知識・技術の吸収に努めています。

平成27年4月には、篠路はまなすクリニックの増築棟に手術室が移転します。チームワークを向上させ、最大限の力を発揮できるよう準備したいと思います。

看護師 山中 淑恵

○シャントPTA

血液透析には動脈と静脈を手術で短絡させたバスキュラーアクセス（シャント）が必要不可欠です。シャントは生理的な状態より血流が速いため、血管の太さや壁の厚さが変化し狭窄や拡張を生じます。狭窄部が閉塞に至ると透析の実施が困難になるため、異常を早期に発見する必要があります。

臨床工学技士・看護師が穿刺のたびに視触診・聴診を含めた観察をしています。脱血不良（血流不足）、異常音、血管の陥凹などの所見があれば、超音波検査や血管造影検査を行いま



す。狭窄部は主にPTA（経皮的血管形成術）で治療します。X線透視室で位置を確認しながら、先端に風船のついたカテーテルを用いて拡張します。

PTAは現在、はまなす医院で行っていますが、来年からは篠路はまなすクリニックでも可能になります。透析患者様に安心して通院していただけるよう、自施設での確実な治療に努めたいと思います。

臨床工学技士主任 青木 玲香



私たちの研修報告

最新知識の習得とスキルアップを目指し、日々研鑽を積んでいます。



バスキュラーアクセス 勉強会



はまなす医院
篠路はまなすクリニック
平成26年8月21日
平成26年9月25日

透析患者様にとって週3回の通院は必要不可欠ですが、生活の上では大変な負担です。しかも毎回2本の針を刺されるストレスが待ち構えています。「針が上手に刺されば、透析は終わつたも同然だよ」という患者様もいらっしゃいました。

いました。シャント穿刺は透析医療において最も大切なプロセスの一つであり、確かな技術によって患者様からの信頼を得ることが出来ます。

より安全で苦痛が少ない穿刺を目指す取り組みとして、工藤岳秋理事長を講師として、各施設でシャントの勉強会を行いました。透析用人工血管・カテーテルなどの各種バスキュラーアクセス(VA)、穿刺時の注意点、はまなす医院で行われている手術やカテーテル治療、など幅広い内容でした。基本からVA管理の大切さを再確認する良い機会となりました。

篠路はまなすクリニック 看護師長 庄田尚子

糖尿病重症化予防 (フットケア)に係る研修に 参加して

日時 平成26年9月24日～9月26日(3日間)
場所 北海道看護協会

透析看護・糖尿病看護におけるフットケアの必要性を実感する場面が多くため、研修に参加しました。

透析に至った方は高血圧や尿毒症性物質により保存期腎不全の時から動脈硬化を生じて

います。長期的にはカルシウム・リン代謝がアンバランスになり血管の石灰化(カルシウム分がたまる)が進み、動脈硬化が高度になつて血管が詰まつたり傷が治りにくくなつたりします。糖尿病が原因で腎不全になつた方では感覺神経の障害が進行している場合が多く、靴擦れ、やけど、水虫(白癬症)、たこ眼(胼胝)、うおのめ(鶏眼)などのわざかな皮膚の損傷から潰瘍や壊疽を生じ重症化します。

まず足の状態、生活状況、セルフケア、全身状態の4つの視点からアプローチして患者様自身をケアしていくことを学びました。究極の目的は予防であり、足病変を引き起こす可能性が高い要因を見極めること、患者様の考え方・価値観などを把握しながら生活にも介入しその要因を見極めること、が重要であると感じました。



います。長期的にはカルシウム・リン代謝がアンバランスになり血管の石灰化(カルシウム分がたまる)が進み、動脈硬化が高度になつて血管が詰まつたり傷が治りにくくなつたりします。糖尿病が原因で腎不全になつた方では感覺神経の障害が進行している場合が多く、靴擦れ、やけど、水虫(白癬症)、たこ眼(胼胝)、うおのめ(鶏眼)などのわざかな皮膚の損傷から潰瘍や壊疽を生じ重症化します。



事務長兼理事長補佐
中辻 博

事務長兼理事長補佐に就任して

平成26年10月より事務長兼理事長補佐職を拝命しました。前職は北海道銀行で、足掛け40年勤務しておりました。その間、支店開設、IT関連会社への出向・経営参加、債権回収会社新規設立、金融円滑化法に基づく企業再生等の業務を行ってきました。病院・歯科医院などの新規開設に対する融資・経営分析等も行って来ましたが、今回は立場が替わって病院経営・開設当事者となり、自分自身戸惑う毎日です。

当法人の理念「人」は医療の根幹を念頭に置いて、患者様に寄り添う医師・医療スタッフのためにより良い職場環境を創ることを第一の命題にしたいと思います。“行動する事務局”として両施設を飛び回ってスタッフの悩み・問題解決のために取り組み、来春の『篠路はまなす消化器外科・腎臓クリニック(仮称)』が順調に開設できるよう努めてまいります。

好きな言葉は「前向きに困難な問題に取り組む」「狭き門より入れ」です。長女は看護師を退職して子育て中。次女は北海道がんセンターで看護を勉強中。私の元気の源は、孫と遊ぶことです。大切な家族を支えにして63歳の小生、あとひと踏ん張り、がんばります。

「篠路はまなすクリニック」 増築工事、進行中。

玄関・外来棟など1階の形が明らかになってきました。
工事は来年3月までの予定です。ご協力よろしくお願ひいたします。

2014年11月1日現在



ひとくちメモ 「手荒れ」

すっかり日が暮れるのも早くなり、冬が間近に感じられるようになってきましたね。この時期、手荒れで困っている方も多いかと思います。木仕事や冬場の寒さ・乾燥などの原因で生じ、かゆみの原因ともなりますので、予防ヒケアをしっかりと行いたいものです。簡単な工夫を挙げてみたいと思います。

①外出時は手袋を着用する。



②手洗いのとき強くこすりすぎない。

③タオルで拭くときは、ゴシゴシこすらず
表面を押すようにして拭く。

④お湯よりも冷水を使用して洗う
(お湯は手の油分を奪います)。



⑤ハンドクリームを使い分ける。

- 予防：グリセリン、ワセリンなど
の保湿効果のあるもの
- ケア：セラミド、尿素などの保水力のあるもの

⑥濡れた状態でワセリン系の外用薬を塗り、
手指に水気を保つようにする。

「ウェットラップ法」と呼ばれています。

⑦搔く刺激によってさらに手荒れが悪化するので
注意する。

⑧我慢できないかゆみには冷却が効果的。

⑨薬を塗った時、ラップを巻いておくと効果が上がる(薬がしみこみやすく、保湿が良くなります)。

手荒れには多種多様な原因があります。自分の肌に
適した予防・改善策を見つけることが大切ですが、症状
が深刻な場合は病院での相談も考慮しましょう。

臨床工学技士 馬場 勇人

<参考webサイト>

医療生協さいたま：搔く前に読もう 寒い季節の皮膚対策(伊藤 理恵)

http://www.mcp-saitama.or.jp/column/health_body/201011.php ほか

すっかり秋も深まり、徐々に冬の足音が近付いている気がします。「スポーツの秋」「行楽の秋」など様々ですが、私は「読書の秋」にしようと思い立ち、書店に行ってみました。そこで目に留まってしまったのは、怖い話の短編集。通勤時に少しずつ読んでいると、ただでさえ朝は冷えこんでいるのに、ぞっとしてさらに背筋に寒気が走ってしまいます。この次は心温まる恋愛小説を選ぼうと思いました。

「はまなす季刊」も発行再開から1年が経ちました。始めは編集作業に戸惑っていましたが、最近少ししづつ要領を得てきたように感じます。今後もより良い医療の提供を目指した私たちの取り組みや、篠路はまなすクリニック増築の情報等を載せていくたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(A.Y)